

資料提供
(教育・南部同時)

提 供 日 : 令和3年(2021年) 2月19日(金)
部 局 : 琵琶湖環境部
所 属 : 滋賀県立琵琶湖博物館
担 当 : 林竜馬・中井克樹
電 話 : 077-568-4811
E-mail : info@biwahaku.jp



福井県年縞博物館との連携事業を実施します

令和2年(2020年) 7月30日に開催された滋賀県・福井県知事懇談会における合意事項に基づき、広域的な交流の促進を目的として、下記のとおり福井県年縞博物館において、滋賀県立琵琶湖博物館と福井県年縞博物館との連携事業を実施します。

今回は、1階ロビー等で琵琶湖博物館の「移動博物館」の展示キットを展示するとともに、展示の開催に合わせて、年縞と関連のある分野の専門家として当館学芸員による講座「サイエンスカフェ」が実施されます。

記

1 連携事業の内容

(1) 琵琶湖博物館の「移動博物館」のキットの展示

日 時 令和3年(2021年) 3月5日(金) ～ 4月19日(月)

場 所 福井県年縞博物館(福井県三方上中郡若狭町鳥浜 122-12-1) 1階ロビー 等

展示物 琵琶湖博物館「移動博物館」キット

- ・空から見た琵琶湖(床マット)
- ・アケボノゾウ足跡レプリカ
- ・ダルマガエルの拡大模型 (別紙参照)

(2) 「サイエンスカフェ」の開催

日 時 令和3年(2021年) 3月5日(金) 14:00～16:00

場 所 福井県年縞博物館セミナー室

募 集 15名(新型コロナ対策としてセミナー室の定員の50%とします)

講 師 琵琶湖博物館 林 竜馬 主任学芸員

演 題 「湖にねむる森と気候と海のものがたり」

参加費 無料。ただし、茶菓子代の実費として500円をいただきます。

申込み 福井県年縞博物館まで直接お願いします

電話 : 0770-45-0456 電子メール : varve-museum@pref.fukui.lg.jp

※サイエンスカフェは平成30年度以降開催しており、今回で14回目となります。

※ ご来館の際には、マスクの着用、アルコールによる手指消毒など、新型コロナウイルス感染防止にご協力をお願いします。なお、サイエンスカフェ当日は、講師の林主任学芸員による移動博物館キットの解説があります。

2 その他

- ・令和3年度(2021年度)には、福井県年縞博物館の所蔵品を琵琶湖博物館に展示するとともに、年縞博物館学芸員が琵琶湖博物館で解説をする予定。
- ・今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、企画内容が変更または中止になる場合があります。最新の情報については、年縞博物館のホームページ等をご確認ください。

福井県年縞博物館で展示される琵琶湖博物館の「移動博物館」キット

キット名	内容	サイズ等	写真
空から見た琵琶湖 (床マット)	滋賀県周辺の衛星写真をゴム製マットに印刷したもので、床面に展開して用います。三方五湖周辺も範囲に含まれています。衛星写真なので、地理的位置や地形だけでなく、主な道路や建物、施設などの姿を読み取ることができます。	W2000×D3000	
アケボノゾウ足跡レプリカ (足跡マット付き)	大昔の琵琶湖のまわりに住んでいた動物のうち、代表的なアケボノゾウの足跡化石のレプリカです。ゾウの足跡の大きさや、深さを実感することができます。(足跡の輪郭だけをプリントした、円形の足跡マットもあります。)	【レプリカ】 W470 × D470 × H300、 【マット】 φ 600	
ダルマガエルの拡大模型	身近な水田には、いろいろな生きものがすんでいます。この模型のダルマガエルは、約6倍に拡大されています。このカエルは滋賀県では比較的によく見られますが全国的には珍しく、滋賀県でも保護対象になっています。三方五湖の周りにも分布しています。	W800 × D600 × H1200 ※【展示台】 W800 × D500 × H700、 【展示物 (カエル) 】 W500 × D450 × H330、	